



2016年10月号

最新ニュース



ジュニパー、先進の自動エンフォースメントと脅威防御でソフトウェア定義型セキュア ネットワークを拡張

マルウェア検知・協調型エンフォースメントの **Sky Advanced Threat Prevention** を複数のスイッチやファイアウォールにまたがって統合し、統一的なインテリジェント防御体制を構築します。

ジュニパーは、毎年主催しているユーザー コンファレンス、[NXTWORK2016](#) で、セキュリティポートフォリオの強化を発表、脅威防御機能をネットワークにまで拡張し、これまで以上に深いスイッチ レベルにも対応します。新しい強化ソリューションには次の内容が含まれます。

- **ポリシー エンフォーサー搭載 Junos Space Security Director :**
Security Director に対応するスマートなポリシー導入エンジンである **新型ポリシー エンフォーサー** は、**Sky ATP** と連携し、ファイアウォールやスイッチにまたがって感染ポイントを検知・検疫する一元管理セキュリティ ポリシーを実行します。ポリシーはリアルタイムに適用され、脅威の増大に合わせて適応するため、ネットワークやユーザーを効果的に保護できます。
- **Sky Advanced Threat Prevention :**
Sky ATP が強化され、ジュニパーの次世代ファイアウォールの仮想版・物理版の双方に対応しました。**vSRX** と **Sky ATP** の連携により、悪意ある多種多様なマルウェアを検知し、クラウド利用による高度な脅威防御を実現します。
- **サービス ゲートウェイ「SRX4100」&「SRX4200」 :**
 最新ゲートウェイ [SRX4100](#) と [SRX4200](#) は、コンパクトなミッドレンジの次世代ファイアウォールです。中規模のキャンパス型エンタープライズ ネットワークを対象に、魅力的な価格帯でこれまでにない柔軟性を実現します。ファイアウォールの **SRX4000** は、クラウドによる先進の脅威防御機能を搭載しており、悪意ある多種多様なマルウェアを **Sky ATP** で検知できるほか、パブリック クラウドやハイブリッド環境向けに **vSRX** とのシームレスな統合にも対応します。

パートナー向け販売リソース

パートナー センターの [「製品発売」ページ](#) には、下記の資料などが用意されています。

- ジュニパーのネットワーク セキュリティのポジショニング
- ソフトウェア定義型セキュア ネットワーク (PPT)

●セキュリティ エグゼクティブ オーバービュー
[ジュニパー マーケティング コンシエルジュ](#)には、すぐに使えるセキュリティ キャンペーンが揃っています。

トレーニング関連ニュース



ジュニパーのトレーニングで特典獲得が可能な TrainAthon と PartnerU を導入

ジュニパーの **APAC** チャネル改革計画の一環として、ゲーム形式の学習システム **TrainAthon** を **9月23日**に開始

ジュニパーのパートナー様の販売スキル向上とジュニパー ソリューションの習熟を促進する新たな制度として **PartnerU** が導入されました。パートナー様とのビジネスのあり方を再構築するジュニパー チャネル改革の重要な柱となります。

また、**TrainAthon** は、ゲーム形式で学びの文化を育むことを目的としています。アジア太平洋地域のパートナー様を対象に、利用しやすいモジュールと魅力的な特典で専門知識獲得を促進します。

プラットフォームへのアクセスは簡単

TrainAthon のご参加に当たっては、ジュニパーのパートナー センターに登録済みのメールアドレスとラーニング アカデミーのアカウントを入力します。同プラットフォーム上では、ユーザーにお勧めのラーニング アカデミー モジュールが表示されます。また、四半期ごとに新しいトレーニング モジュールを選び、メールや **SNS** を通じて紹介します。モジュールを修了すると、各種特典に利用可能なポイントが付与されます。

また、取得した認定資格を **SNS** で紹介することも可能です。リーダーズ ボードで最優秀パートナーの名称が公表されます。特典獲得に向け、[今すぐご参加](#)ください。

データ センターとクラウドのニュース・資料



10月25日～28日、 OpenStack サミット (スペイン・バルセロナ) に ジュニパーContrail チームが参加

スペイン・バルセロナで **OpenStack** サミットが開催されます。パートナー様、お客様のコンファレンスご参加をお待ちしております。また、会場の **B20** 番ブースでは製品デモを開催します。10月26日(水)のジュニパー主催による **OpenContrail** ユーザー グループミーティングにぜひご参加ください。

ジュニパーのブログ「[SDN and NFV Era](#)」にチャイタニヤ・カディヤラが投稿し、同サミットで質問のある方や **Contrail** 製品チームと面会希望の方のスケジュールを設定するため、[メールでの問い合わせ](#)を呼びかけています。また、以前のブログ投稿で取り上げたジュニパー関連の分科会についての提案を寄せてくださった読者の方々に感謝の意を表明しました。

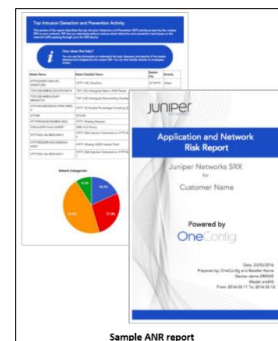


「Dare to Know Your Network」キャンペーンで、お客様のネットワークセキュリティ評価のきっかけづくりに

お客様は、自社ネットワーク上で何が動いているのか把握しているでしょうか。意識向上型のキャンペーンで、お客様に理解を深めてもらいませんか。

「[Dare to Know Your Network](#)」（「きちんと理解しておきたい自社ネットワーク」の意）キャンペーンでは、ジュニパーネットワークスのサービス ゲートウェイ「SRX シリーズ」のパワーに、**OneConfig** のクラウドベースのレポートツール「**Application and Network Risk (ANR)**」を組み合わせ、お客様の参考にしていただけるネットワークセキュリティ評価を実施します。

このセキュリティ評価は、パートナー様が実際の侵入を伴わないオンサイトでの概念実証の形で実施し、業界トップクラスのセキュリティ レポートでその後のフォローにつなげます。レポートでは、ネットワーク上のアプリケーション トラフィックを総合的に可視化し、それに関連するリスクを評価するとともに、**Sky ATP (Sky Advanced Threat Prevention)** 搭載の **SRX シリーズ** ファイアウォールと、**Junos Space Security Director** の組み合わせでどこまでリスクを軽減できるのか検証します。



ジュニパーの技術アライアンス パートナーである **OneConfig** との提携により、通常、1 時間足らずでデモ ユニットをセットアップし、万全のセキュリティの下、お客様のデータをクラウドベースの同サービスに送信してレポートを作成します。



左図のビデオでは、ネットワーク評価を通じて、**SRX シリーズ**採用のセキュリティソリューションの効果をご覧いただけます。

「**Dare to Know Your Network**」キャンペーンを活用して、セキュリティ対策の機会づくりに

[プログラムの詳細](#)はパートナー センターでご覧いただけます。

また、[ジュニパー マーケティング コンシエルジュ](#)では、米国のパートナー様向けに注目度の高いメール キャンペーンが近日中に公開されます。どうぞご期待ください。



10月27日、
新ポリシー エンフォースメント オーケストレータを含む
ジュニパーの新セキュリティ製品アナウンス

新製品のポリシー エンフォースメント オーケストレータを始め、2種類の新型ミッドレンジ次世代ファイアウォール、サービス ゲートウェイ「SRX4100」「SRX4200」など、新しいセキュリティ製品について、セキュリティ製品マーケティング担当ディレクター、スコット・エモがご紹介します（言語：英語）。

10月27日（木）のアジア太平洋地域向け Web キャスト（全 60分）に[今すぐご登録](#)ください。各地の開始時間は以下のとおりです。

ニューデリー 8 : 30AM

香港・シンガポール・北京 11:00AM

東京 12:00（正午）

シドニー 1:00PM

オンデマンド配信されている本シリーズの Web キャスト

[Security on Caffeine—Sky Advanced Threat Prevention](#)

[ジュニパー セキュリティ ビジョン 2016](#)

[ジュニパー ネットワークス 2016 年セキュリティに関するビジョンとキャンペーン](#)

[ジュニパーのセキュリティ製品による課題克服と成功](#)

[ジュニパーのエンタープライズ向けネットワーク セキュリティ ソリューションの販売チャンスの見極めと製品ポジショニング](#)

その他のセキュリティ関連資料

[セキュリティ パートナー アクティベーション キット](#)

[ソフトウェア定義型セキュア ネットワーキング](#)

—業務部門意思決定権者向けプレゼンテーション—2016年10月更新

[ジュニパー エンタープライズ ネットワーク セキュリティ製品のポジショニング](#)

—2016年4月

[ジュニパーのファイアウォール移行クラウド ツール](#)

[ScreenOS から SRX シリーズへの移行促進プログラム](#)

サービス プロバイダ関連のニュース・資料



ジュニパーと BTI の経営統合を受けての光伝送関連のトレーニング、サポート、管理ソフトウェア、販促資料の最新情報

ジュニパーが BTI Systems を買収してから 6 カ月が経過し、現在、BTI の製品、システム、従業員をジュニパー ファミリーに統合する作業に追われています。そこで最近の活動の様子をご紹介します。

光伝送製品への対応のためのワークショップとオンライン トレーニング

ジュニパーに新たに追加されたパケット光伝送ソリューションをパートナー様に紹介する一連のトレーニングセッションが先ごろ完了しました。ワークショップでは、製品説明、プラットフォームや構成要素の解説のほか、新たな収益アップに迅速につなげるための主な相談窓口が紹介されました。また、同セッションでは、設計、BoM 作成、プロフェッショナル サービス オプションなど、光トランスポートの典型的な販売プロセスも解説されました。セッションにご参加いただけなかった方々を対象に、[オンライン トレーニング](#)もご用意しました。ぜひご利用ください。

BTI サポート計画の最新状況

現在、BTI パケット光伝送製品 (BTI7800、BTI7000、BTI800、proNX Service Manager) のサポート業務をご希望のパートナー様の準備・確認に向けたパートナー サポート実施計画を策定中です。こうしたパートナー様は、BTI パケット光伝送製品のサポートに必要なツールや体制づくりが必須となります。具体的には、レイヤー1、レイヤー2の光ファイバーによる伝送網、メトロイーサネット、光伝送ノードの経験・知識が必要です。

パートナー様がこうした技術をサポートする場合、光伝送分野 (光ファイバー用パワーメーター、光パルス試験器/OTDR、光テストセットなど) で一般的に使われるツールに習熟する必要があります。また、光ファイバーを使ったインフラの保守・トラブルシューティング手法にも精通していなければなりません。ジュニパーでは、要件チェックリスト、各種 e ラーニング モジュール、BTI ラボ、ラーニング アカデミーのトラブルシューティング課程 (現在準備中) を用意しています。詳しくは、担当のパートナー アカウント マネージャーまたはジュニパーのディストリビュータにお問い合わせください。

proNX Service Manager、 光コンポーネントの管理対象を MX シリーズ DWDM 光カードにも拡大

プロバイダのネットワークが光、IP/MPLS、イーサネットに対応してマルチレイヤー化する中、管理ソリューションには、自動化、拡張、オープン化のサポートが求められています。具体的には、ネットワーク構成要素レベルでのオープン仕様インターフェイスの採用、管理・コントローラ レベルでのオープン仕様インターフェイスの採用、個々の運用内容に特化した主要アプリケーションなどが含まれます。一般に光ネットワークの導入時には技術的な課題が

発生するため、特にネットワーク全域での光回線（トランスポンダ、マックスポンダ、増幅器、ROADM などを含む）のプロビジョニング、モニタリング、トラブルシューティングの調整が必要になります。proNX Service Manager の主機能は、光、伝送、パケットの各サービスについて、全サービスのプロビジョニング、モニタリング、トラブルシューティングなど、エンド ツー エンドのサービス管理です。

光サービス管理におけるproNX Service Managerの役割を強化するのが、proNX Integrated Transponderプロジェクトです。Juniper Networks® MXシリーズ3Dユニバーサルエッジルーターの光カードや光インターフェイスのほか、PTXパケット トランスポート ルーターの障害、設定、アカウンティング、パフォーマンス、セキュリティ（FCAPS）に限定したサポート、さらには今後のバージョンでのPTXシリーズならびにQFXシリーズのエンド ツー エンド対応にも管理対象範囲が広がります。proNX Service Managerは、MXシリーズの光ラインカードからBTIシリーズの光コアまで、通信事業者側の極めて直感的なGUI（ファットクライアント）による簡単なクリック操作や、オープン仕様のノースバウンドAPIにより、光回線のプロビジョニング、モニタリング、トラブルシューティングがエンド ツー エンドで可能になります。詳細は[proNX管理アプリケーション](#)をご覧ください。

パケット光伝送のソリューションブリーフ配布開始

ソリューションブリーフ「[Packet Optical Data Center Interconnect Solution](#)（パケット光伝送によるデータセンター相互接続ソリューション）」は、DCI導入によってデータセンター間や、コロケーションポイント、ピアリングポイントを結ぶ柔軟性に優れた大容量・低遅延回線を実現します。

また、「[Packet Optical Solutions for Access and Aggregation](#)（アクセスとアグリゲーションのためのパケット光伝送ソリューション）」と題した文書では、次世代メトロネットワークのアプリケーションやサービスを手がけるサービスプロバイダが、コストパフォーマンスや機動性の面で高い要求水準に対応するための大容量パケット伝送インフラ構築術を解説します。BTI製品の詳細については[パケット光伝送製品サイト](#)をご覧ください。

サービス関連のニュース・資料



カスタマーサポートセンター（CSC）が、カスタマイズ対応ダッシュボードを備えたサポートポータル「MyJuniper」に刷新

ジュニパーは、[カスタマーサポートセンター（CSC）](#)をお客様ごとにきめ細やかな対応が可能なサポートポータル「MyJuniper」に刷新し、本四半期後半に公開予定です。

刷新後に誕生するポータルサイト「MyJuniper」では、お客様向け、パートナー様向けを一本化した便利なサポート窓口になります。高度なカスタマイズに対応するダッシュボードを備え、製品サポートの効果的な管理に必要なツールや情報がそろっています。

新しい特長としては、主な情報や指標がそろった設定変更・カスタマイズ対応ダッシュボードがあり、以下の各種リストが閲覧できます。

- サポート ケース
- サポート 契約（有効期限一覧あり）
- 購入製品の EOL・登録状況一覧

現行の CSC にある特長・機能は、新機能追加後もすべて引き継がれます。

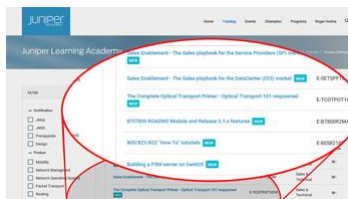
LEAP プロジェクト、11月11～13日のカットオーバー後にサービスロジスティクスを強化

11月11日、ジュニパーのロジスティクス、革新、生産性の向上に向けた LEAP プロジェクトが始動します。この LEAP プロジェクトでは、さまざまな業務の効率化とともに、精度の向上や市場投入期間の短縮に取り組みます。

- 修理・在庫管理
- 補修パーツ計画
- 返品確認制度（RMA）

11月11日～13日の3日間、システム停止が予定されており、この間にシステムのアップグレードを実施します。ただし、パートナー様向けの業務は通常どおりです。RMA 手続きは従来どおりにお進めください。過去のシステムアップグレード時と同様の手書きのペーパー チケットによる作業に切り替えます。

ラーニング アカデミー関連のニュース



BTI 光伝送トレーニングを含む新コースの確認は
コース カタログで

多種多様なコースが揃うラーニング アカデミー。たった数コースを紹介するだけでは、とても間に合いません。そこで [コース カタログ](#) をぜひブックマークに登録しておき、お手すきの時にぜひ内容をご覧ください。皆様の専門知識を充実させる多彩なコースが揃っています。



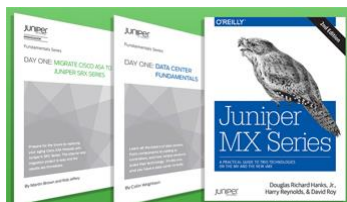
新しいジュニパーネットワークスのデータセンター認定
トラックでプロフェッショナル レベルの認定資格取得へ

ジュニパーネットワークス認定資格プログラム（JNCP）の [データセンター認定トラック](#) では、最新のデータセンター技術やこれに関連する設定・トラブルシューティングのスキルを伸ばすためのプログラムです。受講資格としては、データセンター環境での Junos OS の高度な知識が求められます。

世界各地のピアソン VUE 試験センターが運営する試験に合格すると、ジュニパーネットワークス認定プロフェッショナルデータセンター (JNCIP-DC) が授与されます。

PROFESSIONAL
JNCIP-DC

受験に必要な資格は、[ジュニパーネットワークス認定スペシャリスト・エンタープライズルーティングおよびスイッチング \(JNCIS-ENT\)](#)です。



ジュニパーのお客様がああベストセラー『MX シリーズ』の第 2 版を執筆、『Day One』シリーズには新刊登場

Juniper MX シリーズ第 2 版

ジュニパーネットワークス ブックスとして 2012 年に発売されてベストセラーとなった『MX シリーズ』に第 2 版が登場しました。第 2 版の執筆・リサーチを担当したのは、ジュニパーの専任アンバサダーで、フランスの通信会社 Orange の NOC エンジニアでもあるデイビッド・ロイ氏。つまりジュニパーのお客様という立場にあります。MX シリーズに関しては世界でもトップクラスのエキスパートである同氏が新規追加分の 2 章の執筆を担当したほか、膨大なイラストの収録、内容の見直しで 150 ページ以上の増ページとなりました。

vMX を含む章が追加された第 2 版は合計 1100 ページを超え、図、環境設定、適用領域のシナリオなど数百点が掲載されています。書籍版、電子ブック版ともに [O'Reilly](#)、[Amazon](#) で好評発売中です。また、世界各地の書店、オンライン書店でもご購入いただけます。[O'Reilly.com](#) にてプロモーションコード「AUTHD」を入力すると、1 部または少数の注文の場合で 40~50% の割引になります。50 部以上の大量注文の場合の割引については、[Patrick Ames](#) までお問い合わせください（英語対応のみ）。

『Day One』シリーズに新刊

- [Day One: Data Center Fundamentals](#) :

コンポーネントから配線、コントローラに至るまでデータセンターの基礎が網羅的に学べる 1 冊です。ジュニパー製品によるデータセンター技術の活用にも触れます。本書で学ぶことにより、独自のデータセンターネットワークの設計技術が身につく、技術ごと、設計方針ごとの長所・短所も理解できるようになります。これを足がかりに、データセンター構築の道が開けます。

- [Day One: Migrate Cisco ASA to Juniper SRX Series](#) :

ジュニパー製ハードウェアへのリプレースやアップグレードの手順を、ステップバイステップで確実に学べます。ジュニパー アンバサダー プログラムによって執筆・検証された移行ガイドの第 1 弾で、Cisco ASA 管理者にとっては、迅速、簡単にして、Junos OS フレンドリーな内容となっています。[『Day One』のページ](#)では PDF を無料で配布中です。また、[Apple iTunes](#) や [Amazon Kindle](#) のサイトでは携帯端末向けの電子ブックがダウンロードできます。書籍版は [Day One Print Store](#) で購入可能となっており、世界各地への配送に対応しています。書籍関連プログラムの詳細については、[Patrick Ames](#) にお問い合わせください。